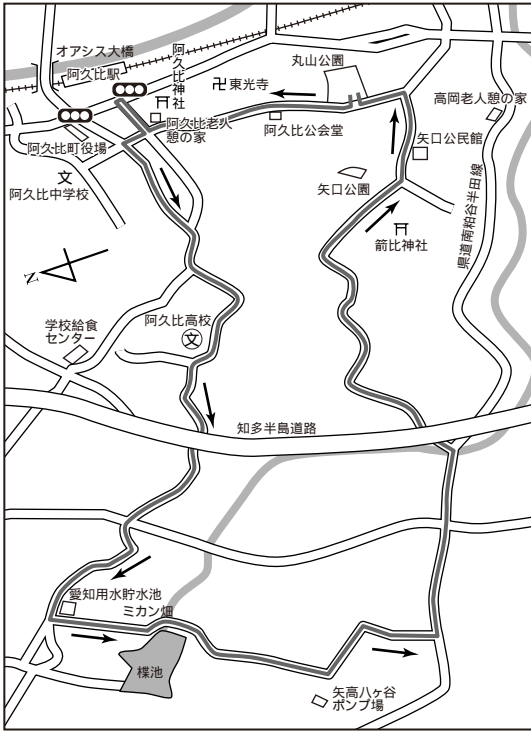


シリーズ

阿久比を歩く ⑥⑥



丸山公園周辺のケヤキ

ミカンのおいしい季節が到来。この時期にはびったりの「オレンジコース」をぶらり旅に出掛けた。天候は晴れ。「小春日和」とは今日のような日をいうのだろう。太陽の日差しがまぶしく暖かい。第一チエックポイント「丸山公園」からスタートを切る。周辺のケヤキの葉は黄金色。公園内の地面も落ち葉で黄金色に染まる。木の葉がヒラヒラ舞い落ちる光景は何だか寂しい

オレンジコース

第三チエックポイント「阿久比神社」に立ち寄り。今年阿久比谷虫供養はこの場所で行われた。入り口横に残された大塔婆が虫供養会場の

です。よねえ「ぼそつと友人がつぶやく。公園に「初老を迎える男」と「にやついた男」。世間は落ち葉よりも私たちの背中に哀愁を感じるんじゃないのかなあ。クリスマスも近いのに二人でこんな場所にいるのはおかしいですよ。」。しばらく歩くと、民家の間に一部分だけ突出した屋根瓦が顔をのぞかせる。頂上部分には「英比山」と刻まれた文字が見える。第二チエックポイント「東光寺」である。

菅原道真の孫雅規が開いたといわれる東光寺。雅規が英比の郷を治めたいわれにちなみ山号を英比山と称する。寺は高台に建ち、参道の坂道から町の東部が一望できる。番犬が私たちを歓迎してくれるかのようにしっぽを振っている。お返しとばかりに私たちも犬に手を振り、寺を後にする。



虫供養で使用された大塔婆

友人が意外に鼻の利く男だと新しい発見をした。「今度は小判でも探し当ててくれよ」と私が冗談を言うと、「ガンリン代が値上がったので石油でも掘り当てますよ」と真剣に目を輝かせていた。次回につづく。

「遭難したらどうしましょうね」。遭難は大げさだろう。まあ何とかなるさ」と会話をしていた矢先、友人が鼻をクンクンさせ「甘酸っぱいにおいがしませんか？多分あの奥がミカン畑ですよ」と指を差すので行ってみる。一面に鈴なりのミカンやっとの思いでミカン畑にたどり着く。

あぐいぶらり旅

ふれあひマップを歩く(オレンジコース①)